

学校だより

希望のうた



第1－9号 平成30年 6月19日 佐世保市立日野小学校

こんな子どもに ☆ゆめをもち、なかまを大切に、元気いっぱいに！

たくさんの参観 ありがとうございました

先週、開催した「学校開放週間」には、たくさんの保護者・地域の皆様に参観いただきました。ご多用な中、ありがとうございました。

新しく教科となった道徳の授業はいかがだったでしょうか。すべての学級が「生命の尊重」をテーマ授業を進め、生命の不思議、かけがえのなさ、周囲の支え等について考える時間となったと思います。

その他にも、写真（上）にあるような4年生の「ぼかし作り」（環境アドバイザーがゲストティーチャー）、5年生の福祉体験学習（写真：中）、他学年でも栽培活動（写真：下）などが行われ、周囲と自分とのつながりを実感してくれたことだと思います。日野小では、「いのち」を見つめ、自分を振り返る場づくりや様々な取組を日々の教育活動の中で行っています。

開放週間の期間中は、PTAの方に集中下足前において、受付をしていただきました。日差しが降り注ぐ中に受付をしていただいた方もいらっしゃるかもしれません。おかげさまで無事に開放週間を終えることができました。感謝申し上げます。



○「新しい教科道徳」について

今年度から、道徳は「新しい教科 道徳」として、国語や算数などと同じ教科となりました。時間数は、年間35時間を標準とし、従来と変わりません。このことは、新聞やテレビなどの報道でも取り上げられてきましたので、ご存じのことと思います。教科書もつかっています。

「考え、議論する道徳」という方向性が文科省から出され、授業も変わろうとしています。子どもたちが、道徳の時間に資料で出合った出来事を自分の事としてとらえ、

「一体それでいいのか・・・」

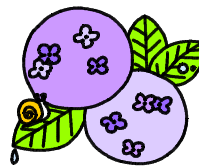
「友だちはどう考えているのだろう・・・」

という思考プロセスをとっていく授業が大切になってきます。

今回もその趣旨を取り入れた授業も展開されていました。変わりゆく学校、変わりゆく授業、教育が大きく変わっていきますが、本質を見失わず、心豊かな子どもたちを育む学校でありたいと思っています。



○教育相談のすすめ



教育相談を随時実施しています。どうぞ、気軽にご相談ください。

特に、毎週水曜日の午後はスクールカウンセラーの先生も来校いただいています。

お子さんのこんなところが気になると悩んでいらっしゃったら、担任先生を通じてお知らせください。また、直接、学校へお電話していただいても結構です。

<たとば・・・>

- 大勢の中で、人の話がきちんと聞けているか心配だ。
- 注意が移りやすく集中して話を聞くことが苦手。または音や他人の声に敏感で、耳をふさいだりいらいらしたりすることが心配だ。
- 話し方や発音が気になる。声が極端に小さい。うまく会話のキャッチボールができない事が心配だ。
- 学習や生活においてなかなか意欲が高まらない。あるいは努力しているが思うように成果が上がらない。「できない」「きらい」と自信をなくしていることが心配。
- ゲームの没頭する時間が長すぎる。注意しても聞き入れることができないので、心配をしている。

